

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策マニュアル（川里中ダイジェスト版 ver4）

～自分を守り、大切な人を守る環境づくり～

※本資料は、市教委作成マニュアルのダイジェスト版であり、本校の実態や文部科学省Q & A 等を踏まえた具体的な対策を付け加えています。市の方針や**最新の情報に沿った対策**となるよう、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

飛沫感染・接触感染防止編

1 基本原則

教職員	・朝の検温 → かぜ症状のある場合、自宅で休養する。 ・マスクまたはフェイスシールドを原則として着用する。 ・正確な情報提供、偏見・差別の防止、個人情報保護を（心のケア）
生徒	・朝の検温、健康観察 → 発熱等のかぜ症状のある場合、自宅で休養する。（出席停止） ・※症状が長引く場合は、保健所に相談する。 ・症状が改善した場合、翌日から登校することができる。 ・基礎疾患のある生徒や高齢同居者のいる生徒の登校については、主治医の判断を求める。 ・マスクを原則として着用する。 ・※ただし、屋外等換気が十分で生徒間に2m程度の距離が取れる場合や、対面しない形態が完全に確保される場合は、必ずしも要しない。 ・※マスクを外しているときは、会話を控える。 ・※1m程度の距離で、マスクをせずに15分以上の接触があった場合は濃厚接触になる。 ・※水筒は年間をととして必要に応じて持参し、水分補給する。 ・タオルやハンカチを持参する。 ・※水筒、タオルは個人持参を使い、貸し借りをしない。 ・免疫力を高める指導に留意する。（十分な睡眠・適度の運動・バランスの取れた食事） ・正しい知識により行動する。「差別をしない、許さない」 ・※床に置いたバックやカバンを触った場合は手洗いをを行う。（※床に落下したウイルスが付着している可能性があるため） ・当面の間、登下校は制服でなくてもよい。（新型コロナウイルス感染防止対策のため）
来校者	・来校者名簿への記入と、感染症対策としてマスク着用・手指消毒の協力を求める。 ・ただし、宅配便や郵便の配達等、短時間の用務であることが明確な場合は除く。

2 具体的な対策

健康観察	・毎朝、家庭で検温し、体調の確認により発熱等のかぜの症状があれば、自宅で休養する。（出席停止）
マ ス ク	・供給不足の状況を踏まえ、市販・手作りを問わない。色・柄についても特に定めない。
手 洗 い	・石けんと流水により、手首から指先まで30秒洗う。アルコール消毒液は補助的に使用する。
3密回避	・換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面が同時に重ならないよう、こまめな換気、配席の工夫、身体的距離の確保等に努める。 ・※教室が低温のためエアコン等で暖房する場合は、活動内容を制限して教室を暖めることを優先する。
消 毒	・1日1回、手袋を着用し、消毒液を不織布きんに含ませて、ドア引手・ノブ・蛇口・スイッチ・ 手すり を消毒する。

3 教育活動における留意点

（1）授業中

共 通	・持ち物には記名し、用具の貸し借りはしない。 ・講義型の授業中心になっても「見える化」を図り、「書いて考える学習」等、工夫する。 ・グループでの話し合い活動や作業を行う場合、生徒間の距離や向きに十分配慮し、複数の教室を使用して行う。（普通教室＋少人数教室・多目的教室・ホール等）
家庭科	・調理実習は、健康管理や感染防止策を十分に行って実施する。実習後に食する場合は向かい合わないこととする。 ・近距離での作業を避け、共用器具の使用前後の石鹸による手洗いを行う。
保健体育	・保健分野において「感染症の予防」を指導する。 ・可能な限り屋外で実施する。体育館を使用する場合、窓を常時開放、もしくは1時間に5分～10分程度換気する。 ・集合・整列は1m以上の間隔を空ける。接触が想定される種目は、前後に手洗いをしっかり行い、実施する。 ・共用器具の使用前後の手洗いをしっかり行う。
音 楽	・リコーダーの演奏は距離や向きに十分配慮して行う。 ・生徒間の間隔をあけ、人がいる方向に口が向かないようにする。
美 術	・共用器具の使用前後に手洗いをしっかり行う。

英 語	・握手・ハイタッチなどの身体接触を伴う活動は避ける。 歌を歌う活動は、マスク着用の上、可能とする。
理 科	・理科室の対面形態は、十分な換気と完全なマスク着用のもとに行う。 ・実験は必要最低限とし、必要により安全メガネも装着する。共用器具の使用前後に手洗いをしっかり行う。
ゆりのき	・共用教材を使用する場合、手で目・鼻・口等を触らないよう指導し、教材を消毒する。

(2) 部活動

- ①朝練開始 **各部の計画による。**
 ②練習内容 接触プレーと近距離での会話を極力避けるよう、練習内容を工夫する。
 ③練習時間 当面は2時間程度とする。
 ④練習試合 **各部の計画による。**

4 1日の学校生活における留意点

日 程	配慮事項	留 意 点
登校	マスク	・原則マスク着用だが、十分な距離が保てれば必ずしも要しない。
朝練	手洗い	・ 活動前後に手洗いをを行う。部活動朝練用健康チェックカードを使用する。
朝の会	健康観察	・ 検温と体調の確認（検温していない生徒は体温測定） ・ 担任・主任・副担任・養護教諭の連携を図る。
授業	換気 距離 消毒	・ 窓は常時開けておく。（エアコン使用時も適温になったら、1時間に5～10分程度の換気を行う。） ・ 可能な限り生徒間の距離をとる。 ・ グループ活動等で十分な距離がとれない場合は、近距離での会話・発声を避けるために複数の教室を使用する等配慮する。 ・ 共用器具の使用前後に手洗いをしっかり行う。
休み時間	換気 手洗い	・ 休み時間ごとに、2方向のそれぞれ1つ以上の窓を開ける ・ トイレ後には石けんと流水で手洗いする。
給食	手洗い 消毒 対面しない 感染の備え	・ 全員、給食前には石けんと流水で手洗いする。 ・ 当番は健康状態を確認し、マスク・エプロンを着用する。 ・ 配食は健康状態を点検した生徒・教職員で行い、密集を避ける。 ・ 配食後に食缶に戻してのおかわりは行わない。 ・ 喫食は密集を避け、対面とせず、 会話を控える。 ・ 給食当番は一週間以上固定する。（前期・後期の分担で実施中）
清掃	距離	・ 分担箇所を分け、密集状態を避ける。 ・ 共用物を使用する前後に手洗いをしっかり行う。
昼休み	手洗い	・ 歯みがきを行う際には、流しに集中しないよう配慮する。 ・ 校庭に出てボールや用具を使ってよいが、校庭から戻った際には 手洗いをしっかり行う。
授業		（午前中と同じ）
帰りの会	健康観察	・ 体調の変化に注意する。
委員会・係活動	距離	・ 話し合い、作業時の密集・密接に注意する。
部活動	健康観察 距離 換気 消毒	・ 開始前に健康チェックする。（体調が悪い場合は参加しない。） ・ 体育の授業に準じる。用具の貸し借り、飲み物の回し飲みはしない。 ・ 一定時間接触する対人練習は避ける。 ・ 吹奏楽部はパート練習を中心とする。 ・ 室内の活動は、1時間に5分～10分の換気を行う。 ・ 共用物の使用前後に手洗いをしっかり行う。
下校後	消毒	・ ドアの引き手・ノブ・蛇口・スイッチ・ 手すり を消毒する。 （一日に1回）
欠席の場合	配付物	・ 感染防止のため、次に登校した際に配付します。

5 今後の学校行事について

(1) 宿泊行事

修学旅行の実施は見送り、3月の卒業旅行として調整しています。
 また、スキー教室も実施する方向で計画しています。

(2) 当面の間、多数の生徒・保護者が集まる行事は延期または中止します。

※多数とは、原則として教室に40人超、体育館に200人超（生徒・職員・保護者等）を目安とします。

①ただし、**全校朝会、生徒朝会等の全校集会は、短時間で行います。**

②**スキー教室の保護者説明会を予定しています。詳細は後日、ご案内します。**

(3) 三送会、卒業式、その他の学校行事については、詳細が決まりしだい随時お知らせします。